

事業者向

放課後等デイサービス自己評価

記入年月日: 令和 4年 1月 30日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		グループ分けを行う事で活動のしやすさあり(部屋を分けたりも含む)	
	2 職員の配置数は適切であるか	4		・活動によって職員を調整している ・配置数は基準をクリアしてるが実際の支援にあたるには足り苦しいと感じることがある	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	・毎月職員が振り返り評価し、改善している ・月に一度全員で確認し合っている 必要あれば個別に振り返りを実施している ・月一の児童会議で共有を行っている ・会議を定期的に行っている ・あれどうなった？と確認したりされたりする場面が多く、サイクルが止まる事がある 定期的に研修の中で業務改善のPDCAサイクルを確認する等して意識できるようにしていく	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		・年度末にアンケートを配布し、評価してもらっている ・頂いた意見・評価に対し次年度改善に向けて取り入れさせてもらっている ・今年度は昨年度のご意見を踏まえ、事業所の情報発信に力を入れた ・アンケートを行っている	・アンケートの結果を受け、課題や改善策を話し合いを行い実行していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・結果を公開している ・毎年保護者アンケートを実施(評価表に加え法人からの満足度アンケートも実施) 年度末に公開している ・ホームページで公開している	・法人広報とも連携し情報発信を行っているが、さらに見ていただきやすい発信の方法などを検討しなければいけない
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5 ・現在は行っていません	・今後実施に向けて準備を進めて行こうと検討しています
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・全体会などで行っている ・各職員に学びとなる提案を投げかけさせてもらっている ・ASDの基礎やチームビルディングの研修を定期的実施している ・研修委員会が中心になって研修が行われていて参加している	毎年新しい職員が増えるので、新スタッフに必ず受けてほしい基礎的な研修を実施する
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		・日々の支援を振り返り、6カ月ごとに作成している ・支援計画を作成し、同意を得て支援を行い、その結果を、懇談で保護者に伝えている		

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	・太田ステージを基に本人の状況等を理解している	
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・分担して立案している ・話し合い、決定・実行・振り返りをしている	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・日々の振り返りや子ども達の状態に合わせて作成している ・教材も使用している ・同じ活動が繰り返し行われているだけで工夫に欠けると感じることもあるが、季節に応じた活動も取り入れている(夏季休業など) ・時間軸は同じだが、活動の中身を工夫している	・工夫しているが十分とはいえない。特に事業所内でできる活動の幅が広がるよう、他の事業所と情報交換を行いながら展開していく
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		平日と休日夏季休業日などはプログラムを分けている	・ねらいを明確にし、充実感を味わいながら達成できる支援の提供を行っていく
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		子どもの状況に応じて、個別活動が主の場合と集団活動を取り入れる部分と、組み合わせ提供している	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・その日の振り返りをしたり(できるだけ毎日)、支援前に打ち合わせをしている ・出勤時間の関係上、打ち合わせがきちんとできないまま支援・活動を行うことがあり、活動時に困ることがある ・前日から当日にかけて行っている ・職員の出勤時間や個々の業務の関係で必要な打ち合わせができない時がある 前日に打ち合わせした事が周知されず進んでいる事もある	課: その場にはいない職員と共通認識を持てるようにする事が課題
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	・気付いたことなど情報を共有している ・その日に行えなくても子どもの様子や活動内で気付いた事などメモし、共有できる場所に貼り、優先順位をつけ解決しようとしている	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・子どもの様子は連絡帳に記入している ・特記は別でまとめ、次の支援にどうつなげるか検討しようとしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		・振り返りの中で課題の再確認を実施している ・モニタリングは年2回行っている ・日々の状態が変わり支援内容が変わっても、支援計画の立て直しまではできていない。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5		・ガイドラインに沿って基本活動を組んでいるが、スタッフのガイドラインの熟知度が違うため、ガイドラインの読み合わせが定期的に必要と感じる	・ガイドラインの内容を理解して、ねらいや目標を明確にすることを継続していく
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		・児発管、現場のリーダーを中心に参画している ・児童発達支援管理責任者が参画している	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	・各年間計画の共有のしにくさがある ・送迎等のトラブルの対応はできている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		・事前引継ぎは保護者や相談支援専門員または児童発達支援センターと共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		・保護者を通じて行っている ・担当者会議に出席して伝えている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	・県の発達障害者支援センターと連携し情報交換を行っている(共同開催で保護者研修会など) ・利用児がドクター受診をする際に情報提供したり、アドバイスを聞いている	・継続的に研修の機会を設けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	・参加はしているが、どのような会がなされていて何を目的に行っているのか等は現場におろせていない ・児童発達支援管理責任者が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・送迎時の引継ぎや連絡帳 懇談等で共有している ・利用中の様子を伝え、家庭でのことを伝えられた時には傾聴し、職員間でも共有している	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		・ペアトレなどの支援は行っていない		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・契約時、1対1で説明を行っている ・契約時に時間をとって説明・同意を頂いている。又変更があった場合は懇談時に確認していただいている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		・懇談時や事業所内相談を行っている ・相談については適切に応じられるように心がけている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	・保護者会は立ち上げていないが保護者主催のカフェにてスペースの提供を行っている(今年度は未実施)	・コロナ禍でもできる取り組みを探していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・スタッフ間だけでなく上司に相談し対応している ・腰を据えての話が必要な際は事業所内相談を利用して対応している ・現場スタッフの対応だけでなく上司に内容を伝えすぐに対応できる様になっている	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・定期的に「にじいろレター」を発行している ・ママ連メールの活用 ・活動の様子等を写真でお渡しすることもある ・ブログで定期的に活動の様子を伝えている	・ホームページやブログの周知を行っていく	

	35	個人情報に十分注意しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳密に行っている</li> <li>・名前をさらさないよう置き方・向きなど気をつけている</li> <li>・職場より持ち出さない様になっている</li> </ul>	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的手がかりを重要視している</li> <li>・個々に応じた視覚支援を用いている 保護者にも口頭だけではなく文書でもお知らせする等している</li> </ul>	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で行事の招待はできていないが、事業所ブログを開設して情報を発信している</li> <li>・にじいろ秋まつり等があったがコロナで開催されていない</li> <li>・地域の掃除に出ている</li> <li>・中高生ボランティアの受け入れをしている</li> </ul>	・コロナ禍でもできる取り組みを探していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会を設置し話し合いをしている</li> <li>・担当職員を中心に意識づけを図っている</li> <li>・リスク担当が中心になり月1回避難訓練を行っている</li> <li>・コロナ対策のBCPを作っている</li> </ul>	・ホームページやブログなどで、保護者の方への周知の方法を考えていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	今年度は子どもがいる状況で実施が出来たが、さらに踏み込み、子どもが逃げ遅れた場合の避難訓練が必要	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度必ず法人内の虐待防止研修に職員が参加し、伝達研修を行いスタッフと共有している</li> <li>・人権委員会が中心になって研修を行い参加している</li> <li>又、他事業所であった事やニュース等、朝礼で聞いている</li> </ul>	来年度は虐待防止委員会を設置する予定である
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束を行っていない</li> <li>・身体拘束が必要なケースが今までに無く、支援計画に記載したことはない 今後必要になった場合に組織的に決定されたものを職員で周知し、保護者への説明も行っていく</li> </ul>	・現在は計画に記載する方はいないが、身体拘束にあたりそうな事柄の共有を行い、保護者にも説明を行っていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に医師の指示書の提出をお願いしている</li> </ul>	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度掲示している</li> <li>・月に一度振り返りと都度の振り返りを実施している</li> <li>・都度ケースを掲示して共有 毎月の会議内でも周知している 昨年度までの傾向も共有し、注意喚起を行っている</li> <li>・月1回会議で毎月のヒヤリハットの内容と件数を伝えている</li> </ul>	